

対コスタリカ共和国 事業展開計画

2018年 4月現在

基本方針 (大目標)	環境分野を中核とした持続的発展への支援
---------------	---------------------

重点分野 1 (中目標)	環境保全
-----------------	------

<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境立国」として独自の環境政策を実施しているコスタリカは、温室効果ガスの排出量と吸収量を同等にする「カーボン・ニュートラル」の早期達成を重視しており、再生可能エネルギーによる発電推進などの環境政策に関しては一定の先進性を示している。一方で、首都圏を含め、国全体における下水処理率はいまだ低く、また、廃棄物処理・自動車のCO2排出などの都市環境整備への取組が遅れている。</li> <li>・交通手段によるCO2排出及び排気ガス汚染は首都圏において顕著であり、鉄道輸送能力の増強、道路網の整備等が必要であるが、資金的な問題、国内関係機関間の調整等の問題により進捗していない。</li> <li>・他の中米諸国と同様、地震・火山噴火・ハリケーンなどの自然災害リスクの高い国であり、防災能力の向上が課題である。</li> </ul>	<p>【開発課題への対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光や地熱の利用など我が国の知見及び日本企業の技術を活用しつつ、コスタリカ政府の目指す「カーボン・ニュートラル」の達成に貢献するために、再生可能エネルギー・省エネルギー分野への支援により、都市環境整備への協力を継続する。</li> <li>・地震などの自然災害が多く発生する同国に対する防災分野に重点を置いた協力を展開し、コスタリカを含む中米諸国の気候変動対策への取組を支援する。</li> <li>・環境面にも配慮しつつ、人間の安全保障の観点から、国の支援が不十分な国境地域等地方における開発を支援する。</li> </ul>
---	---

協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
				2017 年度以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度		
開発課題 (小目標) 環境保全	気候変動対策プログラム	グアナカステ地熱開発事業セクターローン	有償							560.86	
		森林保全計画	無償							7.00	
		中米広域防災能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ							9.50	支援額は広域全体額
		リスク管理の視点を盛り込んだ土地区画整理能力強化	第三国専門家								第三国:コロンビア
		防災分野のボランティア派遣	JOCV/SV								
		防災分野の課題別研修	課題別研修他								
		都市環境改善・自然環境保全プログラム	首都圏の下水道設備整備を行う円借款事業を核とし、廃棄物処理や環境教育分野のボランティア派遣を実施することを通じて、生活・自然環境の改善に向けた取組を行う。	サンホセ首都圏環境改善計画	有償						
環境教育、廃棄物処理、自然環境保全分野のボランティア派遣	JOCV/SV										
環境管理、自然環境保全分野の課題別研修	課題別研修他										
SICA地域における持続的な生物多様性の利用と保全に関する戦略的能力強化プロジェクト	技プロ										SICA加盟全8か国を対象



その他（青少年育成等）

【現状と課題】		【開発課題への対応方針】										
<p>・政府の財政赤字の深刻化により、青少年の育成に対する支援が十分に行われているとは言えず、青少年の健全な育成のための機会を創出することが課題となっている。</p> <p>・2010年に地上デジタルテレビ放送（地デジ）日伯方式の採用を決定し、2019年にアナログ波停止を政策目標に掲げているが、制度構築に係るノウハウが不足している。</p>		<p>・青少年育成等の生活の質の向上につながる支援を実施する。</p> <p>・2019年の地デジ完全移行が円滑に進むように制度構築を中心に支援する。</p>										
協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
				2017 年度以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			
その他  その他 個別の案件	ボランティア事業等の中で情操教育や生涯教育を通じた青少年育成に取り組むと共に、安全で豊かな生活の実現に向けた協力を実施する。 中米諸国中、一早く地デジ日伯方式の採用を決定したコスタリカの円滑な地デジ移行を支援する。	文化分野の無償資金協力	草の根文化無償							0.10		
		地域社会における治安維持機能強化	第三国専門家									第三国:ブラジル
		日本語教育分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
		スポーツ分野のボランティア派遣	JOCV/SV									
		地上デジタルテレビ放送アドバイザー	個別専門家									

【凡例】 「協準」(=全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協カプロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別専門家)、「個別機材」(=個別機材)、「国別研修」(=国別研修)、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「現地国内研修」(=現地国内研修)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国籍間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」及び「普及・実証事業」並びに中小企業連携促進基礎調査)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)